

# 蚊をなくして安全・安心！

—感染症を媒介する蚊の発生防止対策—



いよいよ夏本番、蚊の多くなる季節になります。蚊は人を刺すだけでなく、様々な感染症を媒介することが知られています。このため、蚊の媒介する感染症を防ぐには、日頃から蚊の発生防止に努めることが重要です。蚊の発生場所や防除のポイントを知り、蚊の数を減らして快適な夏を過ごしましょう。

## 身近にいる蚊

私たちの身近にいる蚊は、主にヒトスジシマカとアカイエカという種類で、ヒトスジシマカはデング熱を媒介すると報告されています。ヒトスジシマカは主に

ヒトスジシマカ



撮影：田中誠氏

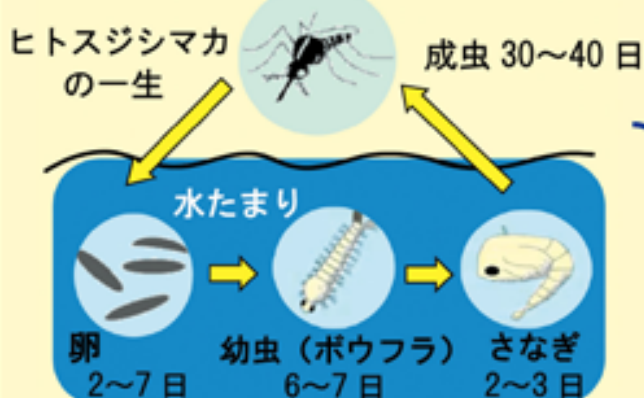
日中（特に朝夕）草むらにひそみ、人が近くと吸血します。夜、屋内に侵入してくる蚊は、主にアカイエカです。

## 蚊の防除ポイント

写真のような場所はありませんか？ 幼虫や成虫の生息場所（水たまり、湿った草むらなど）をなくすことが、最大の発生防止対策です。

## 蚊の一生と発生防止ポイント

飛び回る成虫の蚊を駆除することは大変です。一方で、卵から成虫になる直前まで水中（水たまり）で生活するため、**成虫になる前に駆除してしまふこと（ポウフラ対策）**が効果的です。



夏は条件が良いと12日ほどで卵から成虫になります。

空き缶、ペットボトル等



⇒ 撤去、雨をあてない

古タイヤ



⇒ 撤去、カバーをかける

雨よけシートのくぼみ



⇒ たるみを無くす

植木鉢の受け皿



⇒ 撤去、週1回は水を捨てる

雨水ます



⇒ 泥だめの定期清掃

やぶ、草むら



⇒ 下草刈り、剪定で通風を

## 刺されないために

- ◎ 外出時は肌の露出を控えるために
- ◎ 網戸を活用し、開放を避ける
- ◎ 虫よけ剤も上手に活用を



蚊対策に関するリーフレット等を東京都ホームページでも掲載しています

東京都 蚊対策



【この記事に関するお問合せ】生活環境安全課 環境衛生担当